

道民カレッジ生数

35,208人

※ 令和6年7月末日現在

新規称号取得者紹介コーナー

(令和6年3月1日～令和6年7月31日)

敬称略 本人から承諾を受けている方を掲載しています。

称号取得の方法や手続きに関するお問い合わせは、道民カレッジ事務局までお気軽にご連絡ください。

学長奨励賞

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 学長奨励賞 (18000単位) 榎本 聡子 (札幌市) | 学長奨励賞 (2000単位) 矢澤 貴一 (札幌市) |
| 学長奨励賞 (9000単位) 山崎 繁光 (室蘭市) | 学長奨励賞 (1000単位) 千葉 節子 (美幌町) |
| 学長奨励賞 (5000単位) 成田 孝男 (江別市) | 学長奨励賞 (1000単位) 大塚 一美 (函館市) |
| 学長奨励賞 (5000単位) 山崎 澄子 (室蘭市) | 学長奨励賞 (1000単位) 菊地 忠義 (札幌市) |
| 学長奨励賞 (3000単位) 古屋 道義 (旭川市) | 学長奨励賞 (1000単位) 大場 弘一 (稚内市) |

ほ：ほっかいどう学 地：地域活動 キ：キャリアアップ 環：環境・生活 健：健康・スポーツ 教：教養 道：道民カレッジ

博士 (300単位)

- 中島 潤子 (帯広市・ほ)
- 上田 光宏 (帯広市・ほ)
- 矢嶋 裕之 (苫小牧市・道)
- 神山 実 (札幌市・ほ)
- 近田 正敏 (札幌市・地)
- 塩見 洋 (札幌市・健環)
- 秋江 慶子 (帯広市・健教)
- 高橋 延好 (帯広市・道)
- 伊藤 正一 (札幌市・地キ環)
- 澤山福一郎 (札幌市・健)
- 菊地 忠義 (札幌市・教)
- 福田 範昭 (帯広市・ほ)
- 松田 章子 (札幌市・教)
- 鈴木 雅彦 (当麻町・健)

修士 (200単位)

- 大庭 雄一 (札幌市・キ)
- 松下 要一 (根室市・ほ地健)
- 大塚 一美 (函館市・環)
- 中川 良助 (苫小牧市・キ)
- 小貴 繁雄 (江別市・教)
- 舟山由紀子 (札幌市・道)
- 塩見 洋 (札幌市・健環キ)
- 秋江 慶子 (帯広市・健教)
- 伊藤 正一 (札幌市・地キ)
- 福田 範昭 (帯広市・ほ教)
- 矢澤 貴一 (札幌市・道)
- 佐藤 房子 (苫小牧市・道)
- 田淵 静秀 (札幌市・地)
- 芳賀 雄一 (札幌市・道)
- 吉本 尊人 (北見市・環)

学士 (100単位)

- 大原 幸二 (当麻町・道)
- 国澤 純子 (当麻町・道)
- 大原とも子 (当麻町・道)
- 門脇 幸夫 (当麻町・道)
- 小坂橋幸子 (当麻町・道)
- 濱塚 理江 (北広島市・道)
- 千葉 節子 (美幌町・道)
- 川瀬ひゆみ (幕別町・道)
- 大塚 一美 (函館市・環)
- 舟山由紀子 (札幌市・道)
- 陰山 昭男 (札幌市・道)
- 塩見 洋 (札幌市・環キ)
- 秋江 慶子 (帯広市・教地)
- 伊藤 正一 (札幌市・地キ)
- 菊地 忠義 (札幌市・キ)
- 森 規恵 (札幌市・ほ)
- 福田 範昭 (帯広市・ほ教)
- 矢澤 貴一 (札幌市・道)
- 大場 弘一 (稚内市・地)
- 河野三千代 (当麻町・道)
- 北出 弘子 (当麻町・道)
- 菅原 郁子 (当麻町・道)
- 瀬戸 悦子 (当麻町・道)
- 谷口 景子 (当麻町・道)

ジュニア博士

- 谷口 寧々 (佐呂間町)
- 濱塚 大耀 (北広島市)
- 半澤 詩織 (清里町)
- 半澤 歌織 (清里町)

称号取得者 (延べ人数)

学士 1,315人

修士 1,020人

博士 878人

学長奨励賞 344人

カレッジだより Vol.45 (令和6年9月発行)

編集・発行 道民カレッジ事務局【(公財)北海道生涯学習協会】

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル9階

TEL:(011)204-5780 FAX:(011)281-6664

北海道教育委員会主催

道民カレッジ

COLLEGE NEWS

カレッジだより

2024.SEP vol.45

道民カレッジ・ジュニア 学びを重ねています！

道民カレッジは4歳から入学することができます。4歳～15歳(中学生)は道民カレッジ・ジュニアとして単位を認定しています。

北広島市の濱塚 大耀(はまつかたいよう)さん(14歳)は8歳の時から道民カレッジで学び2024年3月に道民カレッジ・ジュニア博士の称号を取得しました。

考古学系の学びに興味があり、普段は道民カレッジのホームページから講座を探したり、北海道立埋蔵文化財センターでの講座を受講したりしているそうです。この日は母の濱塚 理江(はまつかりえ)さんも道民カレッジ学士の称号を取得しました。親子で学びを重ねて、いっしょに申請に来ていただきました。



「中学生のうちに道民カレッジ・ジュニア博士を取得したかった」とのこと、まなびの広場(かでの2・7・9階)に、これまでの受講の資料を持参してくださいました。

道民カレッジは どなたでも、いつから でも、どこからでも

北海道教育委員会が主催する生涯学習事業「道民カレッジ」は、どなたでも登録することが可能な学びのプラットフォームです。学びから得られる知識や知恵は、複雑に変化する社会・環境を乗り越える力となり、未来を生きるための消えない財産となるでしょう。記録しておくことで、より学びが深まったり、思い出したり、励みになります。ホームページから講座情報をえることもできます。ぜひ、ご活用ください。



親子で称号取得。共に学んだ記録は、これから更に学びを深めるための励みになりますね。

これから道民カレッジに入学をお考えの方は事務局までお気軽にお問合せ下さい



「道民カレッジまなびカフェ開催中」



国語担当の丸尾先生 オホーツク会場にて



とかち会場の様子

道民カレッジまなびカフェとは？

令和6年度より、新しい事業が始まりました。誰でも気軽に行けて暮らしが少し便利になる学びがあって学び方は一人ひとりのペースを大切にされる。誰かや何かに出会えるかもしれない。そんな、あたたかみのあるカフェのようなまなびのスペースを北海道の各地で開催する「道民カレッジまなびカフェ」です。

学ぶ内容は主に小学校～中学校の教科学習です。「今からはじめる」も「もう一度やってみる」も、どちらも叶うように、ゆったりとしたペースで学び合います。「元・校長先生」に講師をお引受けいただき、生活に密着した国語・算数・社会の学習からスタートしました。



今年度は11月までにオホーツク会場、とかち会場、しんのつ会場で実施します。

参加資格は「まなびたい」という気持ちだけ
・もう一度やってみよう！新たな発見があるかも
・学び損ねてしまったことを、もう一度！
・なんだか行ってみたい、みんなと一緒にまなびたい！と、思われる方をお待ちしております。
お住まいの近くでの開催がありましたら、ぜひ、ご参加ください。

※ご自分の地域での開催をご希望される方は、道民カレッジ事務局へご相談ください。



R6年度 道民カレッジデジタル活用講座 学生と学ぶ スマホ教室

昨年に引き続き「デジタル活用講座」を開催しました。講師として、学校法人滋慶学園 北海道ハイテクノロジー専門学校 ITメディア学科の学生をお迎えしました。ITメディア学科の1年生は授業の一環として、毎回10名から12名の学生がプログラムを考案し、スマホの基本操作、便利なアプリの使い方、犯罪から身を守るための知識などの資料を作成しました。受講生の皆さんは、実際にスマホを見ながらマンツーマンで指導を受け、デジタル活用で日常生活がより楽しくなった、家族や友人ともスムーズに連絡が取れるようになった、学生さんとの交流が楽しかった、といった嬉しい声が寄せられました。

① スマホの基本操作を知ろう

カメラの使い方、文字の入力(タッチ&フリック)マナーモードの設定、文字サイズ、画面明るさ調整、Wi-Fi&Bluetooth、壁紙設定

② メッセージアプリ(LINE)を使ってみよう

LINEの使い方(ビデオ通話、メッセージの送り方、友達登録の方法、写真や動画の保存など)

③ インターネットの便利機能を使ってみよう

Google検索のコツ、Google翻訳、Googleレンズの使い方、おすすめアプリ紹介

④ ネット犯罪から身を守ろう

スマホ利用におけるセキュリティの大切さ、スマホ詐欺とその対策法、セキュリティアプリ

⑤ スマホで写真や動画を撮ってみよう

カメラの使い方、メール添付の方法、外を歩きながら撮影会

⑥ 地図アプリを使って目的地に行こう

電子決済、地図アプリの使、Googleマップを使って散歩



～令和6年度のインターネット講座について～

令和6年度は前後期合わせて2本の講座を配信予定です。現在、2本の取材撮影が終わり編集中です。公開までもう少しお待ちください。



道民カレッジ手帳が電子化できます！！

～道民カレッジWebサイトから、お手続きが可能です～

電子化手帳(履修管理システム)でできること オンラインで確認

取得単位や称号、受講した講座の情報を電子化手帳(履修管理システム)のマイページからいつでも確認することができます。

オンラインで申請

単位の申請、称号・学長奨励賞の申請を電子化手帳(履修管理システム)のマイページからいつでも行うことができます。また、講座の申請時に受講したことがわかる資料や道民カレッジ主催講座インターネット講座のレポートは申請時に添付することができるため、保管および事務局まで郵送する必要がありません。

認定証のダウンロード

電子化手帳(履修管理システム)から申請した称号・学長奨励賞はマイページからダウンロードすることができます。

スマホから入学および電子化手帳への移行はこちらから



※2024年8月5日 十勝毎日新聞より引用

